

皆様の参加をお待ちしています!!

「インターンシップ」

参加者の声より  
(抜粋版)

茨城労働局



茨城労働局

に参加して

# 国・労働局について

- 国家公務員全体のイメージとして、ルーティンワークが業務の大半を占めているのではないかというイメージを持っていたのですが、今回、多種多様な業務を体験させていただき、日々臨機応変に業務をこなしているというイメージに変わりました。
- イメージでは内職ばかりの仕事をしていると思っていました。しかし、特に労働基準監督官は自ら外に出て働くことのあるアクティブな仕事だなと感じました。
- 女性の幹部の方が多く女性も働きやすい職場環境の整備がいきわたっているのだと実感することができました。



# 総務部（労働保険徴収室）及び 労働基準部 での実習について

- 労働保険について興味を持っていました。その勉強の中では制度を受けるにあたって、どのような手続きが必要かなどの労働者側からの知識は身につきましたが、今回は手続きを行政側の視点から学ぶことができました。（労働保険徴収室について）
- 水戸労働基準監督署での定期監督体験では、実際に事業場側と監督官側に分かれていただき、双方のやりとりを拝見して、労働基準監督官のイメージがより鮮明になり、試験勉強のモチベーションが上がりました。（労働基準部について）
- 監督課の実習では工事現場において危険を予測し指導したり、健康安全課では昨今の気温上昇に合わせ、対策を講じ周知したりなど、直接人の命に関わる仕事なのだと思います。（労働基準部について）



# 雇用環境・均等室 及び 職業安定部 での実習について

- 定例記者会見が印象に残りました。記者の方からの質問に臨機応変に対応していらっしやり、労働に関する知識の広さや深さの必要性を感じました。（雇用環境・均等室について）
- 「あっせん」のロールプレイングをした際に、実際に職業相談をしてもらい「傾聴力」や「共感」によって話を上手く引き出され、知識だけでは補えない相手に寄り添う姿勢が必要となる仕事なのだと感じました。（雇用環境・均等室について）
- ハローワークに実際に訪れたことも興味を持ちました。ハローワークは失業した人のみが行く場所だと思っていましたが、就活生にも役立つサービスを提供していることを初めて知りました。（職業安定部について）

## 実習ではどのような成果がありましたか？

- 座学だけでなく、業務を体験させていただいたり、職員の方々との座談会などの機会を多く設けていただいたため、労働局の業務に対するイメージが、インターン参加前より格段に具体的なものになったと思います。
- 労働局のどのような業務であってもやりがいとやる気が持てるものであることを知ることができたので、入りたいと思える志望先ができたことも成果の1つであると思います。
- これまで監督官にとっても興味があったが、事務官の業務について詳しく知ったことで監督官以外に目を向けることが出来たよい機会となりました。

